

# 5年ぶりの卒業祝賀会に集う!!

祝 令和5年度 同窓吾峰会主催  
福島大学人間発達文化学類卒業祝賀会



第 153 号

福島大学  
人間発達文化学類  
同窓吾峰会 会 報

今年度の評議員会は、コロナ禍で使用できなかった母校の大会議室をお借りして五月十九日無事に開催できました。本会二十七支部の評議員が年に一度、一堂に会して協議するこの会議は本会活動の指針となる最重要会議であります。今後とも各支部の変わらぬご協力をお願いいたします。

ここでは評議員会の挨拶の中身を幾つかに絞って述べたいと思います。昨年の七月に本部内に名簿刊行委員会を立ち上げ、十年振りとなる名簿刊行の業務を令和七年一月発刊の予定で進めています。すでに会員の皆様の元へ名簿刊行のご案内



## 評議員会を終えて

同窓吾峰会長

峯 島 和 彦

内と調査依頼の葉書が届き、早速名簿購入の予約と協賛にご協力を頂いた方々が多くございましたが、名簿の購入と協賛はこれからでも十分間に合いますのでご協力頂きます様お願いいたします。

前号(吾峰第百五十二号)でもお知らせしましたが、母校福島大学では現在大規模な全学再編の作業が行われています。全体の組織体制や教員の配置など、細部の調整で当初の計画より一年程度遅れますが、現在国の認可を受ける作業を着々と進めています。全体を見ると複数の学類を統合して新学部になる所もあります

が、人間発達文化学類は単独で教育学部(仮称)に移行します。新教育学部の募集定員は現在より相当数減少することが予想されますが、実現すれば平成十七年に今の学類に移行して以来の教育学部の設置であり、我が同窓吾峰会としては将来現職・退職会員共に増加することが見込まれ、大いに期待しております。

また令和五年度の学類卒業生の公立学校教員採用者は合計八十八名でした。(福島県内は五十八名で前年は五十一名)その内訳は割愛しますが、近県での採用者も増加し、更に本県中学校教員採用者が増加(二十二名で前年は十二名)しました。学校の学級数が減少し、教員定数が減少する中で、教職に就く卒業生の増加が見られました。

さて本会全体の組織強化



令和6年度評議員会 ②



学生歌誕生物語 ④



卒業祝賀会 ⑩



研究奨励事業表彰式 ⑫





## 令和六年度 吾峰会評議員会

金谷川キャンパスで五年ぶりに開催

令和六年度の評議員会は、五月十九日(日)に福島大学人間発達文化学類二階大会議室で開催された。

五十六名の評議員が、北海道、岩手県、愛知支部や宮城県、福島県の各支部から新緑に包まれた金谷川キャンパスに集まった。

評議員会は、関場事務局次長が進行し、峯島会長の挨拶の後、学類長の初澤敏生様から祝辞があり、福島支部の内藤副支部長を議長に選出して報告事項・議事に入った。

今年度の主な事業計画は

- ・吾峰会いわき大会開催 十月十二日(土)
- ・名簿刊行委員会 名簿作成と名簿全体構成 研究奨励事業
- ・本部締切九月三十日(月) 会報発行
- ・一五三号・一五四号 福大ホームカミングデー
- ・十一月二日(土) 予定 入会歓迎式(卒業祝賀会)

令和七年三月二十五日 議案はいずれも承認された。

また、いわき支部からは吾峰会いわき大会の内容が紹介された。

### 第一回常任理事・ 理事会開催

令和六年度第一回常任理事・理事会が四月二十三日に行われた。根本眞理事を議長に選出して、令和五年度報告事項や令和六年度事業計画等について協議した。五年ぶりの卒業祝賀会について、コロナ禍で過ごした学生たちにとっても喜んでもらえたと報告があった。

また、評議員会の開催について内容や準備の確認をして会を閉じた。



監事会



### 監事会開催

令和六年度の監事会が四月十一日に行われた。松坂知代子、大堀満広両監事により令和五年度一般会計、同特別会計の監査が厳正に行われた。

一般会計は我彦会計部長、特別会計の積立金は関口積立金管理運営委員長、組織強化費は山寺組織部長、慶弔費は梅津事務員が説明を行った。何れの決算についても相違ないことが認められた。



活発な意見交換



学生歌を高らかに…

## 来賓あいさつ (概要)



福島大学人間発達文化学類

学類長 初澤 敏 生

福島大学人間発達文化学類を代表してご挨拶を申し上げます。\*以下「学類」

三年にわたって続いたコロナ禍も昨年五月に五類になったことから、現在では大学の活動はほぼコロナ以前の動きに戻っています。

様々なイベントも以前の通りに行われる予定ですので、機会があれば是非ご参加ください。

現在、大学では大規模な再編を計画中です。学類においては教員養成を強化していく予定です。教育界は今、様々な問題に直面しています。加えて、教員志望者は激減し、多くの学校では教員が日々苦悩しています。大学の教員養成も、従来と同じことを行っているのではなく、このような状況に対応できる教員を育てることができません。新しい教員養成の体制を作り上げることが必要です。

学類と福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することになりました。

令和四年度から県立高校に教育コースが設定されました。これは将来教員になることを希望する高校生が所属し、高校在学中から教育に関する勉強を進めるというものです。現在県内の八校(来年度からは九校)がこれに属し、一学年約二〇〇名程度の高校生が所属しています。学類では一昨年から夏休みに「高校生セミナー」を開催しています。一年生向けには教育講演会を、二・三年生向けには模擬授業づくりの授業を行っています。今後はその内容を充実させ、高校・大学・就職をつないだ人材育成の体制を整えていきたいと考えています。

また、小・中学校との協力も深めています。特に現在求められている探究活動は従来の授業とは大きく異なります。むしろ大学のゼミ活動に近いのではないのでしょうか。大学が小中学校にできる支援は大きいと考えています。



評議員会風景

この他、多くの学生が学生ボランティアとして、いくつかの学校への支援活動を行っています。地域と大学が結びついた活動を、さらに拡大していきたいと考えています。

その一方で様々な困難もあります。その最大のものが大学の予算の逼迫です。学類でも教員数の削減が進められ特任教員の増加で補っていますが、限界に達しています。このような状況は、教員養成の質的向上と相反するものです。これをどのように解決していくのか、大変悩ましいところです。

しかし、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であることは変わりません。そのための努力を続けていきます。

吾峰会の皆様には、今後も福島大学をご支援くださいますよう、お願い申し上げます。



# 今、学校現場では…

## 「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に向けて



福島地区小学校長会会長  
福島市立福島第一小学校長  
鳴原 理

昨年五月に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、学校は徐々に日常を取り戻しつつあります。今年度の入学式や運動会は、多くの学校でコロナ以前のように地域の方を来賓としてお招きし、人数制限のない形で行われました。本校では、今年度から運動会のPTA種目を復活させ、保護者の皆様にも運動会の種目に参加していただきました。給食もコロナ以前と同じように適切な会話を楽しみながら食事をするスタイルに、グループ活動や合唱・合奏の授業も当たり前のように行われています。



鼓笛パレード

しかし、新型コロナウイルス感染症は無くなっても「手洗い」「換気」等の感染予防対策は継続されています。感染が起こるのは防ぎようがないことなので、いかにして集団感染を防ぐか、欠席している子の学習支援をどうするかが対応のポイントだと考えています。

現在の学校の最大の課題は、人材不足だと捉えています。しかし、これは学校に限ったことではなく、多くの業種で人材不足が叫ばれています。若年層の人口そのものが少なくなる中、将来にわたって教員という職業が若者に選ばれていくためには、学校が働き方改革を推し進め、教員という職業が若者にとって魅力あるものにしていくことが重要です。

福島市では、本年四月に市教育委員会が「働き方改革推進パッケージ」未来に

鳴原 理

向けた一〇のチャレンジ」をまとめ、市長・教育長連名のメッセージで発表しました。本市の働き方改革が目指すのは「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現であり、そのために、各学校では、職員会議資料等のペーパーレス化「標準時数」を上限とした授業時数の見直し「子どもを主語にした授業づくり」「留守番電話の導入」「休日部活動の地域移行」「定期テストの在り方や評価二期制の検討」等に取り組んでいるところで

す。ICTの積極的な活用を始め、ひと昔前の学校では信じられないような改革が進められています。単なる在校等時間の削減ではなく、業務改善によって生まれたゆとりを子どもたちと向き合い、授業を充実させる時間とすることで、教員が心身ともに健康でやりがいをもって働くことができる学校を目指します。

働き方改革によって献身的な教員像に頼らない学校を実現することが、教員という職業を今後も持続可能なものとしていくことに他ならないと考えています。

吾峰会の皆様には、今後変わらぬご指導・ご支援をお願いいたします。

(昭六三卒 福島支部)

## デジタル化(Society 5.0)を生き抜く子どもたちのために



福島県中学校長会会長  
福島市立福島第一中学校長  
板橋 竜 男

昨年五月より、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが変わり、行動制限がほとんどなくなった今、学校での教育活動も従来の形に戻ってきました。ただ、今までの形に戻ったものの、大きく変わってきていることもあります。

ICT(タブレット)の活用  
新型コロナウイルスにより負の活動が多かった中でも、全生徒にタブレットが配布され、授業、行事で活用されてきました。生徒会総会では、各自がタブレットを持ち寄り、総会の要項をデータとしてタブレットで確認しながら、議事を進めました。ちなみにPTA



生徒会総会

板橋 竜 男

総会も要項を配布せず、PDFデータとして各家庭に渡し、そのデータを見ながらの総会となりました。他にも、学芸委員会作成のテスト予想問題も、データとして保存し、朝自習の時間はタブレットでの問題解答を行っています。もちろん、ほとんどの教科でICTを活用した授業が行われています。タブレットは常に持ち帰り、課題なども先生方が各教科のフォルダに入れて、そのフォルダから開いて進めることも多くなりました。そのため、紙での印刷が非常に少なくなりました。

### 体験活動の復活

入学式や卒業式、文化祭などの入場制限はなくなりました。特に文化祭は、動画での配信も行い、仕事などで来校できなかった保護者が各家庭でも見る事ができるようになりました。生徒たちは、音楽で、造形で、書で、言葉で自由に表現し、思い思いに発表することができました。

また、職場体験も昨年度より復活し、二年生が福島



朝自習

市の各企業に行って、体験活動を行うことができました。その二年生は三年生になつての修学旅行で、東京の企業に職場見学を行い、職業観を深めていきました。その他にも、中体連や合唱、合奏の大会が入場制限を特に設けることなく行われるようになりました。

新型コロナウイルスは負の遺産を残したものの、ICTの普及や体験活動の意匠を見直すことができました。今後、子どもたちは、当たり前に使われるようになるであろうICTを活用しながら、予測不能なこれからの時代に、どう対応できるか、そんな資質・能力を育むことが大事になってきます。そこで、吾峰会の皆様にも、今後とも、ご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

(昭六三卒 福島支部)



特集  
学生歌「今日の世紀に」誕生物語



福島大学ホームカミングデー  
講演要旨  
二〇二三年十月二十八日  
副会長 鈴木 隆

作詞者の浅野孔先生には高校一年の時担任していただきましたが、本学で「今日の世紀に」を歌いながらも、楽譜を見るまで気付きませんでした。また、郡山支部の総会で学生歌斉唱の時指揮をされている方が、作曲者の甲斐山義弘先生でした。広報部長の私は、いつか作詞者と作曲者のお二人から「学生歌の誕生についてお聞きし、郡山支部報の記事にできれば」と考えていました。平成二十九年に同窓吾峰会百三十周年記念大会が郡山市になるということで、三月号のトップ記事にすることにしました。

当時、浅野先生は福島市に、甲斐山先生は郡山市にお住まいでした。お二人が同席で対談されることを期待していましたが、浅野先生は出かけるのは難しいとのこと、別々にお聞きすることになりました。浅野先生には私が森合のお宅にお伺いして、甲斐山先生に



講演する鈴木副会長

昭和二十四年に本学が新制大学福島大学となり、芸学部と経済学部としてスタートしました。芸学部は浜田町、経済学部は森合町と離れていたのですが、学内のクラブ対抗のような行事で一緒に会うような程度だったでしょう。昭和二十九年に学生部から一緒に

歌える歌が欲しいということになったそうです。そこで評議会の承認を得て職員と学生代表各十名で「学生歌選定委員会」が組織されました。歌詞の部に二十九編の応募があり、当時芸学部四年生の浅野孔先生の作品が入選し、作曲には十二編の応募から芸学部三年生の甲斐山義弘先生の曲が選ばれたのです。

浅野先生は「福大のみならず、すべての学生に歌い継がれてほしい」という意気込みで作った。とのこと。す。終戦後十年も過ぎない時期、周辺には戦争の傷跡が残されています。先生の歌詞「今日の世紀に」からは、平和な世界を若い私たちが作っていくという気持ちが大きく表れていると私は読み取っています。

採用後に賞金をいただいたのですが、浅野先生は「当時の学友と全部飲んでしまった。」と言っておられました。いかにも豪快、学生らしいですね。浅野先生は退職まで高校の国語教師として教鞭をとられました。次に、作曲の甲斐山先生ですが、生前、奥様のちか子先生から「浅野先生の詩を渡されたときに、これまでにない感動」を受けたこと。しばらくの間悩まれた

が、作曲のイメージは、東京の友達に会いに行く。汽車の中で浮かんできると話していましたよ。」とお聞きしました。

書き上げた曲は、郡山市民の歌の作詞などもされた作曲家の内海久二先生のご指導、さらに、福島大学音楽科の西田正恵教授のご指導を仰いで完成したとのことでした。<sup>\*1</sup>

甲斐山先生は、楽器のある家庭環境で育ち、戦後は自宅近くの安積高校から器楽練習の音が流れていて、音楽への関心は高かったとのことでした。奥様によると、奥様の留守中に「妻に捧げる曲を作曲していただいたんですよ。」とつい最近訪問した私に懐かしそうに話してくれました。

卒業後の先生は、中学校の社会科の教員となり最後は中学校校長で退職されました。退職後は長く郡山支部の役員をされ、支部総会の折にはいつも学生歌斉唱の指揮をとっていただきました。「自分が作曲した『学生歌』の指揮を毎回取らせていただいて。」と嬉しそうに話していました。体調を崩されるまで、ご自宅でピアノやエレクトーンを弾かれていたとのこと。浅野先生は、「本当は、こ

の学生歌がこんなに長く歌われるとは思っていなかった。」「新しい世紀には新しい時代の息吹を感じさせる歌こそふさわしいと思います。今後、明日の世紀の清新の気あふれる学生歌の誕生を期待します。」と述べられていました。

甲斐山先生は「平成十九年、二十年に福大女子陸上部の大活躍<sup>\*2</sup>により、国立競技場に『今日の世紀に』が流れたとき、『他校の校歌に比べ、とても素晴らしい』とお褒めのことばを多数の方からいただき、とても嬉しく思った。」と伺いました。

平成二十年の第一回ホームカミングデーにお二人で招待を受け、オーケストラと合唱団の生のゆつたりとした演奏を聴いたときはとても感動したとのこと。この日、二人ともおしゃべりができるかと思っていました。その時間もなく、「実は、学生時代も二人で会うこともなかったのが残念でした。」と話していました。

浅野孔先生は令和三年一月に、甲斐山義弘先生は令和五年八月に九十歳で、他界されました。福島大学生及び卒業生の心に残る「学生歌・今日の世紀に」を残

されたお二人に、心から感謝を申し上げ、ご冥福を祈りたいと思います。



第一回ホームカミングデーでの学生歌演奏

最後に、現在六十九年間も歌われている福島大学学生歌の作者は、会場にいらっしゃる学生さんと同じ年頃の学生であつたことを心に、皆様も福島大学での学びがこれからの人生に大きなプラスになりますことを期待しています。

(昭四四卒 郡山支部)

<sup>\*1</sup> 昭和二十九年(一九五四)十一月二十七日

全学から募集した学生歌「今日の世紀に」の披露会を福島市公会堂で開催した。

<sup>\*2</sup> 平成十九年(二〇〇七)第七十六回日本学生対校陸上競技選手権大会で福島大学陸上競技部女子総合優勝

## あの時 吾峰人

吾峰  
122号より4×400mリレーを終えた4選手  
(写真：福島民報 8/27付)

「学生歌誕生物語」に出てきた平成二十年(二〇〇八)の出来事を、当時の会報から取り上げてみました。会報一二二号一面に「福大初の五輪選手誕生、北京大会での健闘を期待!」。福大で壮行会が開かれ服部会長が激励に駆けつけました。

会報一二二号には「北京五輪特集号」として選手の活躍や出場後の報告会について、当時のカラーページをそのまま紹介しましたのでご覧下さい。

平成二十年は同窓吾峰会の創立百二十周年の年でした。

## ～打ちたてた金字塔～

### 福大陸上部女子健闘! 先輩選手からバトンタッチ

400m H予選突破の久保倉選手  
(写真：福島民報 8/18付)400mを力走する丹野選手▶  
(写真：福島民報 8/17付)

北京オリンピックには、福大陸上部関係の五名の選手が出場し、「鳥の巣」競技場を跳び、そして駆けるという福島大学始まって以来の快挙となった。

千六百mリレーは、日本女子として初の出場となりしかも福大関係選手で構成されるという充実した内容となった。川本和久コーチ(福島大学陸上部監督)のもとに、丹野麻美選手、久保

倉里美選手、木田真有選手、青木沙弥佳選手の「福大勢」四選手が臨んだ。日本記録(三分三〇秒〇七)更新を目指したが、わずかに〇・三五秒及ばなかった。残念ながら予選突破ができなかったが、よく健闘した。

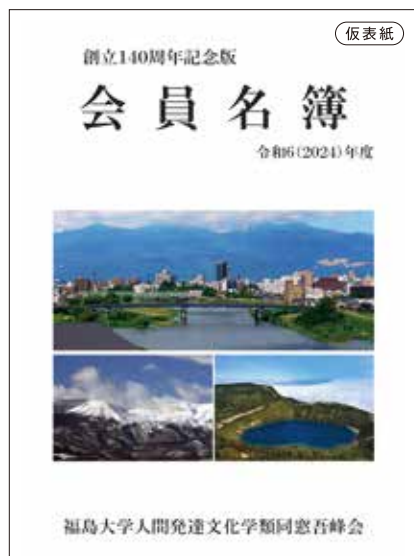
丹野選手は、四百mに日本人として四十四年ぶりの出場となった。結果は五二秒六〇で予選通過がならなかったのは惜しまれる。

四百m障害走には史上初となる出場の久保倉選手が大健闘、五五秒八二で準決勝進出を果たした。

さすがに「世界の壁」は厚く、日本女子短距離界に今後の課題を残したとはいえ、その健闘ぶりは特筆に値する。

選手たちは、「今後につなごう」と(丹野選手)「先輩たちに経験を伝えたい」(久保倉選手)などの力強い手ごたえとメッセージを伝えた。

さらに陸上フィールド競技女子走り幅跳びに池田久美子選手が出場、結果は六m四七で、惜しくも決勝進出は果たせなかった。世界の舞台で、自分の持つ実力を最大限に発揮することがいかに難しいかを痛感させられたが、今後の進化が期待される。



A四判、二段組の見やすい紙面  
価格 五、四五〇円(税・送料込み)

吾峰会創立140周年記念版

## 会 員 名 簿 の ご 案 内

会 員 一 人 一 冊 ! 福 大 卒 業 生 必 須 の 冊 子

会員の皆様には、住所確認のハガキと会員名簿購入用の振込用紙が送付のことと思います。返信がまだの方は、間に合いますので投函して下さい。なお、紛失された方は下記宛にご一報願います。会員名簿送付は令和7年1月の予定です。

注文はまだ間に合います!

お申し込みフリーダイヤル

0120-934-819



二〇二四年度賀寿該当者 長寿おめでとつございます

今年度の賀寿贈呈該当者は、昭和四年四月〜昭和五年三月末日生まれの方です。

・猪狩 正順 尚儀 早苗  
・佐藤 和子 美子 一様  
・丹治 尚子 美子 一様  
・野中 儀子 美子 一様  
・蛭田 尚子 美子 一様  
・五郎 正順 尚儀 早苗  
・今井 正順 尚儀 早苗  
・加藤 正順 尚儀 早苗  
・吉田 正順 尚儀 早苗  
・渡部 正順 尚儀 早苗  
・富田 正順 尚儀 早苗

・河津 尚子 美子 一様  
・福島 尚子 美子 一様  
・南島 尚子 美子 一様  
・いづみ 尚子 美子 一様  
・津島 尚子 美子 一様  
・岩田 尚子 美子 一様  
・郡山 尚子 美子 一様  
・会津 尚子 美子 一様

・宗像 尚子 美子 一様  
・折野 尚子 美子 一様  
・菅野 尚子 美子 一様  
・米田 尚子 美子 一様  
・渡部 尚子 美子 一様  
・斎藤 尚子 美子 一様  
・東郷 尚子 美子 一様  
・藤田 尚子 美子 一様  
・吉田 尚子 美子 一様  
・渡部 尚子 美子 一様  
・富田 尚子 美子 一様

・福田 尚子 美子 一様  
・安部 尚子 美子 一様  
・郡山 尚子 美子 一様  
・福島 尚子 美子 一様  
・津島 尚子 美子 一様  
・岩田 尚子 美子 一様  
・郡山 尚子 美子 一様  
・会津 尚子 美子 一様

・阿部 尚子 美子 一様  
・福井 尚子 美子 一様  
・中野 尚子 美子 一様  
・白石 尚子 美子 一様  
・佐田 尚子 美子 一様  
・石川 尚子 美子 一様  
・浦野 尚子 美子 一様  
・瀬戸 尚子 美子 一様  
・福島 尚子 美子 一様  
・中野 尚子 美子 一様  
・白石 尚子 美子 一様

・福島 尚子 美子 一様  
・津島 尚子 美子 一様  
・岩田 尚子 美子 一様  
・郡山 尚子 美子 一様  
・福島 尚子 美子 一様  
・津島 尚子 美子 一様  
・岩田 尚子 美子 一様  
・郡山 尚子 美子 一様

藤島 昭様(岩瀬)



藤島昭先生は療養中でありましたのでご息女・庄司淳子様に贈呈させていただきました。東京で校長となった教員が叙勲の報告に鏡石まで来られるなど、今でも教え子達との交流が続いているとお話をうかがいました。

渡邊 一朗様(郡山)



「最近、腰を痛めて」とおっしゃいます。でも奥様ともども元気に迎えていたました。つい少し前まで養蜂をしていてその蜂蜜などを食べていることが健康の秘訣かなと話されました。

佐藤 尚子様(福島)



夫が赴任した南戸沢小学校のさつき坂道で体が鍛えられたと往時を懐かしんでおられました。お部屋には息子さんとお孫さんたちの写真が沢山飾られていました。現在はご主人に従順なかわいい犬と穏やかに元氣にお過ごしでした。

猪俣 好巳様(伊達)



交通も不便な時代夫婦協力して、教育に力を尽くしてきました。永い教員生活の中で得たたくさんの思い出があり、懐かしく思います。これからも野菜作りなど好きなことをやり、毎日元氣に過ごしたいと思っています。

古山 京子様(福島)



退職後、大正琴や書道の師範の免許を取得。特に大正琴では各地の演奏会で曲を披露してきました。曾孫は8人。一緒に住む家族4世代と共に、日々元氣にお過ごしです。健康の秘訣は毎日飲む牛乳だとのこと。

丹治 和美様(福島)



きれいに整えられた池のあるご自慢の庭園を背景に、教員時代の思い出を拝読。元氣の源を伺ったところ「明日に希望をもつ」とこと即答。お歳を感じさせないはつらつとしたお姿でお過ごしでした。

五十嵐 實様(会津)



コロナ前までは、教え子達と旅行に行くことが多く、楽しい時間を過ごしているようでした。五十嵐様不在でしたので、写真に代わってお孫さんの描かれた似顔絵を掲載しました。

猪狩 正子様(いわき)



長寿の秘訣を伺うと、「好きなものを食べる」とお答えいただきました。以前はよく運動も行っていたとのこと。終始穏やかで、賀寿状を笑顔でご覧になっていました。

佐藤 順子様(河沼)

今年五月、九十五歳となり、同窓会より、賀寿の賞状と記念品を頂きありがとうございます。私は、四十七歳での不本意な退職(当時の慣例)でしたが、その後すでに四十八年が過ぎました。退職後は、地域のなかでいろいろな活動に参加し忙しく過ごしてきました。お陰様でいまは、夫亡き後一人暮らしですが、地域の方々や友だちに支えられ、元気に暮らしております。



皆様からのおたより

室井チトリ

前略 二月十九日南会津支部より吾峰一五二号が届きました。正直、私は連日生活に追われて、熱心に目を通した事はありませんでした。しかし、賀寿贈呈を機に私を取り上げて戴き、そのから留意して見るようになりました。いつもより賀寿贈呈を迎えられた方が多かったように感じました。今は遺影となりし友、目前にして他界されたり、予定の名前があったのに近況不明な方も有り、複雑な想いもしました。

国語の恩師の和田甫先生の二女の方の文を読み、とても懐かしかったです。今までお逢いしてなかった貴方の写真をみて安心、いろいろと想い出させて戴き、感謝、感謝です。これからは、自分を大切に活躍の程。

私は、周りの者への足手まといにならない様留意して、転倒しないように静かに暮らさせてもらっています。

(昭三三卒 南会津)

昭和55年(1980)の福大祭パンフレットを愛知支部の山田稔様から送っていただきました。懐かしいお店の広告や所属のサークルもありましたか？ (昭59卒 愛知)

10月31日(金) 教育学部祭

学内展示 参加団体 模擬店

海賊船

魔法の洋燈

銀嶺のパン

新すみ

うなぎ・天婦羅

オーデオ専門店



# 学生時代の思い出



## 我が青春の如月寮

青山 邦夫



寮費が月に  
六百元、食費  
が月に三千

円。これが半世紀前に私が四年間過ごした如月寮の経費だった。

古閑裕而記念館となつて、今でも「強者共が夢のあと」の感傷に浸る。寝込みを侵害される「部屋（へや）回り」。先輩が帰った後、二人部屋の二段ベッドで薄い蒲団に体を丸めながら、ラジオから流れる浅田美代子の「赤い風船」や天地真理の「水色の恋」なんかを聴きながら涙していた。

中央アジアの草原を思わせる土俵での相撲大会。先輩から「葵寮のかわいい一年生がみんな朝早くから応援に出てるぞ!」と騙されて走った阿武隈川沿いの早朝の駅伝大会。実際に応援に出ていたのは、あくびをしながらの先輩の葵寮委員長一人だった。  
(昭五二卒 耶麻支部)

## スクープ?



宮城県  
栗原支部長  
小野寺俊幸

浜田原人出沒なる記事が地元新聞に掲載されたのは小生が大学四年の時。金谷川キャンパス移転三年目。浜田町の年季の入った旧キャンパスを知っているのは四年生だけになり、たまたま新キャンパスにのここ出かけてふらふらしている四年生を「絶滅危惧種?」として惻隱の情を持って記事にしてくれたのでしようね。従って私たち五十三年次入学生は浜田町と金谷川の両キャンパスを知る最後の貴重な人種として君臨しているはずと勝手に思っています。

さて、地元の新聞に掲載されたお宝二ニュースをもう



教員時代の一コマ



附属小校門にて

一つ。福島大学に幽霊が出た、という世にも奇妙な物語。新聞記事になる前から学生間ではまことしやかに噂が広がっていました。大学の寮で深夜水道の水が勝手に流れたり止まったり、誰もいないのに廊下で足音がしたりするポルターガイスト現象が起きていた。みんな「ほんとがや。」と半信半疑でいたのですが、地元新聞の記事が出て戦慄が走りまわった。学生だけでなく、深夜巡回中の守衛さんも同じ体験をしているということ。「これはマジだ。」という結論に至ったようです。新聞によるとキャンパスの敷地内には昔、刑場があり、成仏できない霊が彷徨っているのではないかとのこと。そこで霊を鎮めるためにお祓いをしたところポルターガイスト現象は収まったらしいです。

小生が奇跡的に福大に合格できたのは英単語一つのドラマでした。入試の英語の長文読解でいつものようにキーワードの単語の意味が分からず諦めかけていたその時、神の啓示か? 閃いてしまいました。キーワードの解説に成功し見事に、解答がするすると出てくるではありませんか! この奇跡が小生を福島大学に導いてくれたのであります。

(昭五七卒)

## 恩師降矢美彌子先生に捧ぐ



岩手県支部  
事務局長  
高橋 佳文

学生生活で一番影響を受けたのが、卒論担当の降矢美彌子先生である。三年時降矢先生は、小学校音楽の担当だった。ご自身がピアノストでありながら、地域の音楽を大切に、わらべ唄、八丈太鼓、インドネシアのケチャ等、郷土の音楽を数多く授業で取り上げ

た。まとめの授業では、ミュージカルの創作にグループで取り組み、発表会ではその感動を皆で共有した。四年時は、卒論に取り組む仲間と松川地区伝承子供神楽の庭元に、横笛の手ほどきを受けに通い詰めた。卒論発表会での、ゼミ生全員によるリコーダーアンサンブルも、良き思い出である。

東日本大震災に見舞われた年の五月、岩手県支部の研修会で、当時宮城教育大学教授になられていた降矢先生をお迎えしてコンサートが開催された。心に染みる音楽の調べに酔いしれた後、降矢先生の伴奏により、学生歌を会場に響かせた。翌日、降矢先生を案内して、宮古市立赤前小学校を訪問した。降矢先生から、被災した岩手の子供達に何かしたいという要望があり、沿岸に勤務する旧知の校長先生にお願いして実現したものだった。わらべ唄やケチャの体験活動、ピアノ演奏で交流を深めた後、降矢先生は、子ども達一人一人に声をかけながら四つ葉のクローバーを手渡した。来県前日、出張先で空いた時間に摘んできたことを後で知った。何よりも

気にかけていたのは長い間



恩師の隣りで(右から2人目筆者)

避難所生活の支援に当たった先生方の健康だった。福島が大変な状況にありながら、岩手の子ども達、先生方を気遣う姿に、ただただ頭が下がる思いだった。その降矢先生は、五年前、多くの方々に惜しまれながら永遠の眠りについた。真理を追究し、努力を惜しまないこと、周囲への心遣い、数々のご教示に、心から感謝の意を表します。

(昭五八卒)

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
24	山形	堀 泰治	矢口 勲	〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101 山形県立米沢興譲館高等学校 ☎ 0238-38-4741 FAX 0238-38-2531	猪俣 幸一	渡辺 俊三 小野 昭夫
25	千葉	活動休止中				
26	新潟	高橋 信	真柄 正幸・桐生 春江	〒954-0056 新潟県見附市南本町1-5-24 ☎ 0258-62-2636	山本 武	高橋 信武 山本 信武
27	愛知	伊勢呂彰治	齊藤 俊徳・大高 和人	〒491-0903 愛知県一宮市八幡四丁目1-97-708 ☎ 0586-43-7284 FAX 0586-43-7284	山田 稔	伊勢呂彰治 山田 稔
28	岩手県	小野寺 寛	浅沼 清昭・佐々木一郎	〒023-0401 岩手県奥州市胆沢区 南都田字本木158 ☎ 0197-46-3911 FAX 0197-46-3911	高橋 佳文	小野寺 寛 高橋 佳文
29	北海道	市澤 豊	菊地 磯夫	〒002-8071 札幌市北区あいの里2条 6丁目3-2-1206 ☎ 011-778-7662 FAX 011-778-7662	帰家 雄治	市澤 豊 帰家 雄治

令和6年度 同窓吾峰会本部役員名簿

役職名	氏 名
顧問	服 部 秀 文
	齋 藤 正 寛
	千 葉 金之助
	初 澤 敏 生
会 長	峯 島 和 彦
副 会 長	鈴 木 隆
	目 黒 則 雄
	島 義 一
監 事	松 坂 知代子
	大 堀 満 広
常任理事	野 崎 修 司
	山 寺 精 吉
	我 彦 武
	熊 田 喜 宣
	持 地 隆 一
	川 崎 康 宏
	関 口 史 子
	山 縣 眞 二
	菅 野 諭
理 事	菅 野 和 昶
	飯 沼 信 一
	鈴 木 昭 雄
	根 本 眞
	鶴 卷 正 子
	内 藤 良 行
	佐 藤 和 彦
	古 関 明 善
	塚 野 薫
	佐々木 義 通
	佐 藤 秀 美
	佐 藤 浩 哉
	佐 藤 浩 昭
	鳴 原 理
	板 橋 竜 男
	塩 田 俊 郎
	遠 藤 博 晃

幹 事	勝 見 五 月
	茂 木 巧
	二 谷 京 子
	佐 藤 秀 雄
事 務 員	梅 津 浩 子

役職名	氏 名
部 長	野 崎 修 司
副 部 長	山 寺 精 吉
会 長	峯 島 和 彦
部 員	我 彦 武
	熊 田 喜 宣
	持 地 隆 一
	川 崎 康 宏
	関 口 史 子
	梅 津 浩 子

役職名	氏 名
部 長	我 彦 武
副 部 長	勝 見 五 月
部 員	二 谷 京 子

役職名	氏 名
委 員 長	山 寺 精 吉
副 委 員 長	古 関 明 善
委 員	熊 田 喜 宣
	我 彦 武
	持 地 隆 一
	菅 野 和 昶
	斎 藤 義 弘

役職名	氏 名
部 長	熊 田 喜 宣
副 部 長	内 藤 良 行
担当幹事	茂 木 巧

役職名	氏 名
委 員 長	持 地 隆 一
副 委 員 長	佐 藤 秀 雄
委 員	鶴 沼 秀 雅
	寺 岡 弘 之
	内 藤 百 合 子
	小 山 智 恵 子
	工 藤 裕 也

役職名	氏 名
委 員 長	川 崎 康 宏
副 委 員 長	馬 場 秀 之
委 員	菅 野 諭
担当幹事	茂 木 巧

役職名	氏 名
委 員 長	関 口 史 子
副 委 員 長	菅 野 諭
	会長・事務局長 事 務 局 次 長



## 令和6年度 同窓吾峰会支部組織一覽

(令和6年7月報告現在)

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
1	福島	渋谷 朗	高橋 友憲・内藤 良行 福士 久子・嶋原	〒960-8254 福島市南沢又字柳清水20 福島市立清水小学校 ☎ 024-557-0135 FAX 024-558-4983	平久井 淳	渋谷 朗 内藤 良行
2	伊達	松浦 常雄	齋藤 徹雄	〒960-0781 伊達市梁川町字北本町21-1 伊達市立梁川小学校 ☎ 024-577-1124 FAX 024-577-1125	渡邊かおり	松浦 常雄 齋藤 徹雄
3	安達	高島 現	菅野眞智子・日下部善己 小泉 裕明・及川 博睦 齋藤 直	〒964-0904 二本松市郭内一丁目1 二本松市立二本松北小学校 ☎ 0243-23-0029 FAX 0243-23-0012	平野 俊一	高島 現 平野 俊一
4	郡山	大堀 満広	佐藤 久子・上杉 辰男 角田 義和・長瀬 龍男	〒963-1155 郡山市田村町守山三ノ丸1-1 郡山市立守山小学校 ☎ 024-955-3105 FAX 024-955-3139	大木 淳	大堀 満広 武藤 公夫
5	岩瀬	古田 浩	古川 久枝・渡邊 真二 佐浦 雅明	〒962-0015 須賀川市日向町115 須賀川市立西袋第一小学校 ☎ 0248-76-5131 FAX 0248-63-8517	森藤 雅之	古田 浩 渡邊 真二
6	石川	蛭田 重経	富岡ケイ子・館 初浩	〒963-7808 石川郡石川町双里字川向165 石川町立石川中学校 ☎ 0247-26-2315 FAX 0247-26-3036	石沢 泰蔵	蛭田 重経 石沢 泰蔵
7	田村	山口 洋一	佐久間光春・佐久間金治 菅野 正秀	〒963-7759 田村郡三春町字大町157 三春町立三春小学校 ☎ 0247-62-3101 FAX 0247-62-3106	箭内 良一	山口 洋一 箭内 良一
8	西白河	北林 正紀	佐藤 正弘・野口意千朗	〒961-0914 白河市寺小路64-2 白河市立白河第三小学校 ☎ 0248-23-3243 FAX 0248-24-0296	清野 孝	北林 正紀 野口意千朗
9	東白川	奥貫 洋	山口 彌代・永山 美雄 藤田 篤	〒963-5683 東白川郡棚倉町下山本字桃木田34 棚倉町立近津小学校 ☎ 0247-33-2154 FAX 0247-33-2175	矢吹 政徳	奥貫 洋 矢吹 政徳
10	会津	渡部 裕二	岩沢 隆・齋藤 幸男 橋本千賀子・鈴木 正和	〒965-0875 会津若松市米代一丁目5-33 会津若松市立謹教小学校 ☎ 0242-28-2100 FAX 0242-29-3405	大越 辰哉	渡部 裕二 大越 辰哉
11	耶麻	大堀 浄一	青山 邦夫・矢部 宥一	〒966-0806 喜多方市水上6868 喜多方市立第一小学校 ☎ 0241-22-2103 FAX 0241-23-1673	大堀 浄一	大堀 浄一 青山 邦夫
12	大沼	石井 幸雄	佐藤 信寛・北館 長一	〒969-6214 大沼郡会津美里町富川字上中川161-1 会津美里町立宮川小学校 ☎ 0242-54-2222 FAX 0242-54-2277	伊達 明美	石井 幸雄 佐藤 信寛
13	河沼	小林 政昭	山内 聖子	〒969-6553 河沼郡会津坂下町字石田甲650 会津坂下町立坂下南小学校 ☎ 0242-83-2046 FAX 0242-83-0966	仲川 重人	小林 政昭 山内 聖子
14	南会津	五十嵐利明	山本 恭士・大竹 成子	〒967-0004 南会津町田島字会下甲3316 南会津町立田島小学校 ☎ 0241-62-0042 FAX 0241-62-3220	栗木 孝直	五十嵐利明 山本 恭士
15	いわき	金内 三郎	笹川 直樹・沢 宏一 団野 勝一・小野 則夫 平子 宗司	〒970-8026 いわき市平字梅香町7-1 いわき市立平第二小学校 ☎ 0246-23-2413 FAX 0246-23-2414	安田 茂	金内 三郎 安田 茂
16	相馬	島 義一	草野 正徳・飯塚 宏	〒976-0042 相馬市中村字大手1 相馬市立中村第一小学校 ☎ 0244-35-3168 FAX 0244-36-8644	横山 修	島 義一 横山 修
17	双葉	石井 賢一	鈴木 孝彦・笠井 淳一 武内 雅之	〒963-8861 郡山市鶴見坦3-5-6 (臨時事務局 松本事務局長宅) ☎ 090-4314-1933	松本 浩一	石井 賢一 松本 浩一
18	東京	島貫 金雄	荒木 俊夫	〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪2-31-21 ☎ 042-321-2277	島貫 金雄	島貫 金雄 荒木 俊夫
19	仙台	伊藤 宗男	熊谷 和彦・吉田 利弘	〒982-0261 仙台市青葉区折立4-2-1 仙台市立折立小学校 ☎ 022-226-1333 FAX 022-226-2915	千葉 愼一	伊藤 宗男
20	大河原	鈴木登志彦	大沼 章・森 貢喜 佐藤 俊憲・日下 嘉充	〒989-1758 柴田郡柴田町槻木駅西2丁目7-15 ☎ 090-7073-3794 FAX 0224-87-6626	鈴木 哲也	鈴木登志彦 鈴木 哲也
21	栗原	小野寺俊幸	佐藤 新一・狩野 浩二	〒987-2215 栗原市築館高田二丁目8-1 栗原市立築館中学校 ☎ 0228-22-3146 FAX 0228-22-2387	佐藤 一博	小野寺俊幸 狩野 浩二
22	本吉	内海 輝幸	荒川 進・齋藤 一	〒988-0183 宮城県気仙沼市赤岩泥ノ木13-1 ☎ 0226-22-5748	西城 敏幸	内海 輝幸
23	大崎 (旧古川)	井坂 亨	兵藤 正昭	〒987-0003 宮城県遠田郡美里町南小牛田 字石神53 ☎ 0229-32-3492 FAX 0229-32-3492	佐々木勝男	井坂 亨 佐々木勝男

# 母校 福島大学・人間発達文化学類だより

## 卒業祝賀会を開催!!

令和六年三月二十五日ウエディングエルティにて、令和五年度同窓吾峰会主催の卒業祝賀会が五年ぶりに開催されました。百三十三名の参加があり、卒業生達は、先生方や友人達と最後の語らいを楽しんでいました。最後は万歳三唱で、卒業生の新しい船出を応援しました。

### 卒業生代表あいさつ(要旨)

有松 真 優



私たちの大学生活四年間を振り返りますと、やはり新型コロナウイルスの存在が大きく印象に残っています。入学式は開催中止となり、楽しみにしていた授業も最初の半年間はオンラインやオンデマンドでの受講から始まりました。高校生の時に思い描いた大学生活とはかけ離れたものに感じて「友達とは出来るのか」、「パソコンはちゃんと使えるのか」といった多くの不安もありました。しかし、先生方の熱心なご指導やアドバイスをいただきながら



一年生の後期から対面の授業が始まり、会いたかった友達と学校で対面してコミュニケーションを取ることに嬉しさ、オンラインでは味わえない空気感などを感じながら大学生活を送ることが出来ました。対面で学ぶことの良さや、対話の大切さを経験しました。何よりも、福島大学という場所でした経験できない学びを得ることが出来たことを嬉しく思います。



三浦学長あいさつ



初澤学類長あいさつ

新型コロナウイルスの流行は、生活に多くの変化を与えました。しかし、私たちは困難を乗り越え、成長を遂げました。この四年間で、私たちは多くの学びを得ました。先生方の指導や友達のサポートのおかげで、私たちはこの四年間を有意義に過ごすことができました。

同窓吾峰会の益々の発展をお祈り申し上げ卒業生代表の言葉とします。

与えました。しかし、対面型と非対面型の両面を経験した私たちの世代は、社会の変化に対応する力を身につけることが出来たように感じます。また、福島という自然豊かな土地で学び、生活したことにより、身近にある災害に備える意識を身につけたり、浜・中・会津それぞれにある良さを知ることができました。

私たちは卒業生は、進路は様々です。それぞれの新たな環境で、この四年間という時期に福島大学で学んだ、私たちだけの経験を生かして、社会に貢献していきたいと考えています。私の場合、福島大学の卒業生として胸を張って、教員人生を歩いて行きます。

令和5年度同窓吾峰会主催

福島大学人間発達文化学類卒業祝賀会次第

進行：事務局長 野崎 修 司

1. 開会のことば
2. 挨拶  
福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会長 峯 島 和 彦
3. 来賓祝辞  
福島大学長 三 浦 浩 喜 様  
福島大学人間発達文化学類長 初 澤 敏 生 様
4. 来賓紹介  
事務局次長 関 場 弘 子
5. 卒業生代表挨拶  
有 松 真 優 様
6. クラス代表の紹介  
常任理事 山 縣 真 二
7. 学生表彰者紹介  
事務局長 野 崎 修 司
8. 乾 杯  
常任理事 熊 田 喜 宣
9. 学生歌斉唱  
指揮者 赤 坂 佑 介 様
10. 万歳三唱  
副 会 長 鈴 木 隆
11. 閉会のことば

※ 諸連絡



お世話になりました!



乾杯



祝宴風景



万歳三唱



大切な仲間達



いつまでも仲良く



【令和5年度学生表彰者】(敬称略)

団 体

\*男子ソフトボール部

第58回全日本大学ソフトボール大会 北海道・東北地区優勝

\*陸上競技部

男子 第74回東北地区大学体育大会 男子総合 優勝 他

女子 第74回東北地区大学体育大会 女子総合 優勝 他

第76回東北学生陸上競技対校選手権大会 女子トラック優勝 他

個 人

\*文化、芸術の分野で優れた業績をあげた学生

大槻 千明 現代俳句全国大会 学生の部 入賞

中谷 仁絵 日本クラシック音楽コンクール・ピアノ部門 入賞他

\*スポーツの分野で優れた業績をあげた学生

吉江 梨花 高橋 啓吾 (バレーボール)

青木 陽 奥山 小冬 香川 夢花 上村 康介 上村 未来

齋藤 ひなた 林 千尋 (陸上競技)

\*優れた学業成績を収めた学生

人間発達文化学類 堀松 実莉

令和五年度  
学生表彰者一覧

コ ー ス 名 ・ 分 野 名	氏 名
教 育 実 践	米 谷 岳 樹
心理学・幼児教育(心理学)	徳 竹 菜 々 夏
心理学・幼児教育(幼児教育)	森 田 ま つ り
特 別 支 援 ・ 生 活 科 学	佐 藤 宙
芸 術 ・ 表 現 ( 音 楽 )	赤 坂 佑 介
芸 術 ・ 表 現 ( 美 術 )	宮 崎 好 美
人 文 科 学 ( 国 語 )	安 達 友 哉
人 文 科 学 ( 社 会 )	黒 髭 颯
人 文 科 学 ( 英 語 )	伊 藤 沙 彩
数 理 自 然 科 学 ( 数 学 )	谷 口 明 日 香
数 理 自 然 科 学 ( 理 科 )	相 田 修 杜
ス ポ ー ツ 健 康 科 学	高 橋 啓 吾

クラス代表一覧

研究奨励事業

令和五年度最優秀賞に

郡山第二中学校

研究部長 熊田 喜宣

表彰式の開催

令和五年度同窓会・吾峰会研究奨励事業表彰式は、令和六年一月三十一日に開催されました。

今年度は団体五件の応募があり、人間発達文化学類に設置していただいた審査委員会(解析学、数学教育、比較教育学、国語科教育学、比較文学を専門とする教員五名で構成)で審査の結果、郡山市立郡山第二中学校の応募論文が最優秀賞に選ばれ、他の四件は優秀

賞との評価をいただきました。

表彰式において、峯島会長より郡山第二中学校佐藤聡嗣教諭に賞状並びに副賞が贈呈されました。

表彰に先立ち、所用により欠席された審査委員長に代わり、初澤学類長より審査の経過と結果の報告をいただきました。

郡山第二中学校の研究は、生徒たちが主体的に学習に取り組む態度を身につけるための指導と評価につ

入賞作品・入賞者名

《最優秀賞》

◎「主体的に学習に取り組む態度」を育む指導と評価の工夫  
郡山支部 郡山市立郡山第二中学校 代表 早崎保夫

《優秀賞》

◎生かせる知識・技能の育成(算数科)  
～タブレット一人一台の授業づくり～  
郡山支部 郡山市立日和田小学校 代表 渡邊卓也

◎主体的・協働的な学びを目指した授業づくり  
～一人1台端末を活用した学習指導の工夫～  
郡山支部 郡山市立永盛小学校 代表 大石朋子

◎「学びを あじわう」  
～思いを受け入れ、響き合う学び～  
郡山支部 郡山市立芳山小学校 代表 千葉直紀

◎「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり  
郡山支部 郡山市立開成小学校 代表 橋本一弥

いて探求する教育実践研究で、その手だてとして、①学習の振り返りを積み上げるツールの活用、②評価方法を生徒と共有する機会の設定、を挙げ、各教科で実践を積み上げた上で、それぞれの手だてに関する成果と課題が検討されている点が評価できること。さらに、総合的な検証の手法として、評定平均値や生徒アンケートの二つの指標を用いて教育実践の成果を検証・分析している点も評価に値するとされました。

一方で、生徒個々人に焦点を当てて生徒がどのように変容したかについての分析は十分ではなく、そこが今後の研究に期待されるが、中学校において手だてが明確にされているうえで各教科の実践研究に取り組んでいることや、授業の各回において自己評価できていること、数値を用いて評価・分析できていること等を総合的に判断して最優秀賞にふさわしい研究である、との講評をいただきました。

さて、郡山第二中学校から、生徒に寄り添いたいと言う学校の取り組みが評価されて嬉しく思う。今後も子ども主体の指導と評価の一体化を追求し、若年教員を支える研究体制づくりの構築に努めてゆきたい、との謝辞をいただきました。

郡山第二中学校の研究概要については、本会報の他に人間発達文化学類附属学校臨床支援センター紀要第十号にも掲載されます。この紀要はセンターより各学校等にCDにて送付されますが、ご覧になりたい方は吾峰会事務室にお問い合わせ下さい。

なお、優秀賞につきましては、郡山支部事務局を通して四校に賞状と副賞が贈呈されました。

**本年度の募集について**  
本年度も本事業は継続して募集致します。応募票は各支部事務局にもございますが、吾峰会HPからダウンロードしての利用も可能です。今年度の締切日は支部事務局九月二十日、本部事務局は九月三十日となっております。たくさんのご応募をお待ちしております。  
(昭四一卒 福島支部)

## 最優秀作品の概要

郡山市立郡山第二中学校

代表 早 崎 保 夫

### 「主体的に学習に取り組む態度」を

### 育む指導と評価の工夫

#### 一、研究主題設定の理由

本校生徒の実態として、どのように取り組めば目標を達成できるか考えながら学習するなどの「主体的に学習に取り組む態度」に課題が見られた。

「第7次福島県総合教育計画」でも、「子どもたちが、学ぶ意義を、学ぶ過程で自ら見いだしていけるような学びを進める。」と述べられているように、学習過程において、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何が身に付いたか」を生徒に意識させることが、「主体的に学習に取り組む態度」を高めるために必要だと考えた。

そこで、「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価において、「学習の振り返りを積み上げるツールの活用」と「評価方法を生徒と共有する機会の設定」を手だてとして講じること、生徒一人一人の主体的に学習に取り組む態度を高めることができるかと仮説を立て

て、検証することとした。

#### 二、実践内容

①四月に研究組織編成、研究主題、内容、方法の決定、確認を行った。

②五月に全体協議会を実施し、「主体的に学習に取り組む態度」の捉えと評価について研修を行い、共通理解を図った。

③各教科で授業改善と研修を行った。

④十月に全教科で研究授業を実施し、事後研究会において、成果と課題を共有した。



授業風景



みんなで相談

有した。  
⑤各教科部会で年間を通した研究実践の成果と課題を共有した。

⑥十二月末に、「全国学力・学習状況調査」及び「ふくしま学力調査」の質問項目を活用し、事前と事後の生徒の変容を捉えた。更に、評価・評定との相関関係を項目ごとに分析した。

#### 三、研究の成果と課題

授業では、生徒と評価を共有したことにより、「指導と評価の一体化」を図り、評価の妥当性や信頼性を高めることができた。また、生徒の学期末評価・評定が事後において向上した。一方、アンケートや評価・評定を統計的に分析した結果、生徒の「粘り強い取り組みを行う」とする側

面」に対して指導の改善が必要であることが分かった。生徒が、協力しながら最後まで取り組めるように、支援する必要がある。

#### 四、おわりに

本校では、生徒の「粘り強い取り組みを行う」とする側面」を伸ばすためには、自ら学ぶことの意義を見いだしたり安心して学習に取り組める環境を整えたりしながら、個に応じた指導の工夫を進める必要があると考えている。そのため、「第7次福島県総合教育計画」、「学びの変革推進プラン」で示されている「個人と社会のwell-being」(一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ)の実現に向けて、今年度も研修を進めているところである。

(昭六一卒 郡山支部)



研究奨励事業表彰式

◎「学生時代の思い出」大募集！300字程度でお願いします。写真もあればぜひ同封して下さい！

**お待ちしております**

**お待ちしています**

吾峰会HP↑

メール・郵送等で



教え子に囲まれて

快晴の中、あだたら高原美術館「青い」を訪れると、渡辺和郎さんはすでに教え子たちに囲まれていた。「九十二歳の画家、情熱衰えず」と個展について紹介された。

(福島民報五月十二日)

教え子たちの支援に奮い立った。渡辺和郎さんは昭和三十年三月卒業。

仲間たちの「想い」

発信⇄受信

## 編集後記

○学生歌誕生物語に関連して吾峰一二二号のオリンピック特集を紹介しました。福大初の五輪出場の時でした。今年はパリ五輪の年。

○卒業を祝う会もそうでしたが歌うことを控えることが長かった。先日、教え子の同級会に呼ばれました。以前のように歌って踊ろうぜとカラオケをとところが皆、高い声が出ない！ヘタ！：とんだコロナ後遺症でした。

○かつて、テレビはモノクロから始まり、今やカラーで4K時代。

吾峰一五三号から全面カラーとなりました。編集子の方が乗り遅れてないか、という気持ちで紙面を見ています。

#### 会報「吾峰」の原稿や作品等の送り先

##### 宛先・連絡先

福島大学人間発達文化学類 同窓吾峰会  
〒960-8103 福島市舟場町4-30  
福島大学街なかランチ舟場  
電話 024-529-7081  
FAX 024-529-7082  
Eメール gohou@ktd.biglobe.ne.jp